

報道関係 各位

2021年4月4日

株式会社日本レースプロモーション

4月4日(日)
2021年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第1戦
決勝速報

野尻 智紀(チーム・ムゲン)が、ポール・トゥ・ウィンで開幕戦を制す！

国内レースの最高峰、2021年全日本スーパーフォーミュラ選手権 第1戦の決勝レースが静岡県富士スピードウェイで行われ、の野尻 智紀(チーム・ムゲン)が開幕戦をポール・トゥ・ウィンで制した。

昨日と打って変わって分厚い雲に覆われたものの、決勝レースは予定通り14時10分にフォーメーションラップが開始された。スタートでは2番グリッドの大湯 都史樹(ティーシーエス・ナカジマレーシング)がポールポジションの野尻 智紀をパスしトップに立つ。しかし今週末、万全のマシン状態を作り上げていた野尻は10周目に再びトップに。

残り12周のところコース上に微妙な量の雨が降りはじめ、レースはウエット宣言が出された。雨の様子を見定めるため、上位陣はそのままコース上にステイアウト。雨は小康状態が続き、トップの野尻は残り2周となる39周目まで引っ張ると、その周にタイヤ交換。そのまま逃げ切り開幕戦を制した。

2位には大湯 都史樹、3位には福住 仁嶺(ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)が入った。

なお、ディフェンディングチャンピオンの山本 尚貴(ティーシーエス・ナカジマレーシング)は、16番手スタートから追い上げを見せ6位、7番手スタートの平川 亮(カーエネクス チームインパル)は4位となった。

次戦、第2戦は4月24日(土)・25日(日)三重県鈴鹿サーキットで開催される。

*記録の詳細は、公式ウェブサイトでご確認ください。

*ポイントランキングは、オフィシャルサイトに掲載いたしますので、そちらをご参照ください。

